

⑦ 調査・シンポジウム参加等

◎work◎life◎
balance innovation

⑦-1 | 国内ヒアリング調査・シンポジウム参加

【平成21年度】

訪問日	訪問先	訪問内容
6月18日	国立女性教育会館	平成21年度女性関連施設・団体リーダーのための男女共同参画推進研修出席
6月26日	日本青年館	「平成21年度男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」出席
8月28日	国立女性教育会館	男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム参加
9月12日	九州大学、宮崎大学、熊本大学	九州大学女性研究者キャリア開発センター、宮崎大学Athenaサポート室、熊本大学男女共同参画推進室訪問
9月12日	富山大学、金沢大学	富山大学男女共同参画推進室、金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリー訪問
10月7日	東京工業大学	第7回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムポスター発表
10月17日	秋田ビューホテル	内閣府・男女共同参画推進連携会議・秋田大学主催男女共同参画シンポジウム参加
11月25日	日本大学	女性研究者支援システム改革プログラム事業合同シンポジウムの発表と参加
11月27日	京都大学	京都大学女性研究者支援センター訪問
11月28日	東北大学	東北大学男女共同参画シンポジウム参加
1月19日	上智大学	上智大学男女共同参画セミナーへの参加及び学内保育所やメンター制度の聞き取り
1月29日	熊本大学	「全学的な男女共同参画推進フォーラム」の参加と調査
2月15日	静岡大学	女性研究者支援プログラムの実施状況についての視察、打合せ
2月16日	千葉大学	千葉大学両立支援企画室訪問

【平成22年度】

訪問日	訪問先	訪問内容
4月20日	三田共用会議所	「第54回国連婦人の地位委員会等について聞く会」にて情報収集
4月23日	仙台市青年文化センター	第3次男女共同参画基本計画策定公聴会出席
6月22日	メルパルクホール東京	内閣府「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」出席
6月24日	国立女性教育会館	「大学・研究機関における男女共同参画の推進研修」参加
7月5日	国立女性教育会館	女性研究者のエンパワーメントと新領域創成に向けたワークショップ参加
8月27日	国立女性教育会館	NWECフォーラムワークショップ発表

訪問日	訪問先	訪問内容
9月13日	熊本大学、仙台国際センター	「女性研究者養成システム改革加速」事業等に関する調査、『都都ジャンプアップ事業for2013』シンポジウム参加
9月23日	津田塾大学	「ICT分野で国際的に活躍できる女性人材の育成を考える」シンポジウム参加
10月4日	京都大学、理化学研究所	女性研究者養成システム改革プログラム事業合同シンポジウム参加、男女共同参画学協会シンポジウム参加、パネルディスカッション発表
11月17日	富山大学	「女性研究者育成講演会」参加
12月10日	三重大学	シンポジウム「地域活性化と男女共同参画の推進」への参加と視察
12月13日	東京工業大学	シンポジウム「理工系における男女共同参画」参加、情報収集
12月19日	東北大学	シンポジウム「男女共同参画政策と使命」参加
2月22日	高松シンボルタワー国際会議場	四国女性研究者フォーラムに出席
3月26日	島根大学	島根大学施設見学、聞き取り調査

【平成23年度】

訪問日	訪問先	訪問内容
8月22日	静岡大学	国立女性教育会館フォーラム準備会出席、及び、保育施設見学
8月27日	いわて県民情報交流センター	岩手大学男女共同参画推進宣言2周年シンポジウムへの参加による情報収集と連携構築
9月4日	筑波大学、つくば国際会議場	つくば3研究教育機関男女共同参画シンポジウム出席及び筑波大学にて情報収集
10月19日	名古屋大学	「イクメンについて考える」あいち男女共同参画社会推進・産官学連携フォーラムシンポジウムにて情報交換
10月21日	国立女性教育会館	「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」ワークショップの開催
10月31日	筑波大学東京キャンパス 文京校舎	女性研究者研究活動支援事業合同公開シンポジウムへの参加
12月8日	長崎大学	第2回長崎大学男女共同参画推進シンポジウムでの情報収集、保育施設の見学
1月27日	東京工業大学男女共同参画 センター	採択事業終了後も事業を継続し、成果を上げている先行大学の情報収集

7-2 | 国外ヒアリング調査

訪問期間：平成22年9月30日～10月6日

訪問先：カリフォルニア大学バークレー校

- ・ Associate Vice Provost, Office for Faculty Equity アンジェリカ ステイシー氏
- ・ Professor in Residence Emerita of Molecular and Cell Biology キャロライン ケイン氏
- ・ Gender Equity Resource Center, Director of Women's Resources クリスティン アンブロシオ氏
- ・ CALcierge Office, Academic Affairs and Faculty Welfare リサ バナトリ 氏

訪問者：理工学研究科 高塚由美子、男女共同参画推進室 幅崎麻紀子

訪問内容：

分子生物学部見学の後、ケイン氏に山形大学の女性研究者支援策、及び、女性研究者比率等のデータを説明しながら、山形大学の男女共同参画の課題についての意見交換を行った。その上で、国際シンポジウムの内容についての打ち合わせをした。

次に、カリフォルニア大学バークレー校の准副学長で、教職員の公正部局の長を務めているステイシー氏のオフィスを訪れ、大学における男女共同参画の推進策について、意見交換を行った。同女史はもともと化学分野の研究者で、化学分野での常勤研究者となった草分け的存在の研究者である。現在は、公正部局にて、ジェンダーやエスニシティ、ハンディキャップ等に左右されず、教職員が公平に採用・評価されるための施策を運営する部局にいる。

ステイシーにインタビューをしたところ女性が能力を発揮するための方策として、学外のネットワークを活用することの重要性が話題となった。理系分野で活躍する女性が少ないゆえ、女性研究者は、グラントを取る方法やネゴシエーションのスキルなど、学外のネットワークを活用して、お互いに学びあう姿勢が重要だと語られた。ご自身も「女性科学者」のネットワークに入って活動しているそうである。

また、ジェンダーに関わらず構成に評価される機関となるためには、強力なリーダーシップが必要であり、UCバークレーでは現学長がそれを率先して行っていること、教員採用の公正さを期すには、職員のジェンダー比やエスニシティ比率のデータを公表することが重要であると指摘された。すなわち、どこの部局がどのようにアンバランスであるのかを明示することで、学内外に、雇用の際の公正さを喚起することが可能であり、UCバークレーではそれをHP等でも公開しているそうである。

その他、UCバークレーの施策としては、ワークライフバランスのためのガイドブックを用意し、「CALcierge Office」を設置して、新しく採用された教職員がバークレーにて生活と研究をスタートできるよう情報提供に力を注いでいる。すなわち、学内外の保育所の利用に関する事柄、コミュニティでの活動の仕方、配偶者の職探し、居住場所の確保、

医療保健施設の情報提供、学校等教育施設の情報などの提供が行われている。

ジェンダー平等リソースセンターでは、クリスティン氏へインタビューを行った。同センターは、学生から教職員まで、UCバークレー校に所属する人なら誰もが利用できるセンターだが、主に学生の利用が多いそうである。セクシャルハラスメント、DV等の問題解決のための情報やプログラム、妊娠・出産に関する情報提供、バイセクシュアル、LGBT等ジェンダーに関係する多様な情報やプログラムを提供している。

UCバークレー校では、ジェンダーの問題に限らず、ダイバーシティを進めるための施策を、学内の関連部局と連携しながら進めていることが特徴である。山形大学においても、新任者向けのコンシェルジュデスクの開設など、UCバークレーの事例を大いに参考にしたい。



ジェンダー平等リソースセンター 訪問